



2026年5月14日

株式会社アドバンスト・メディア

AIを活用した商談・接客のセルフトレーニングプラットフォーム 「AmiVoice® RolePlay」に、「AI 対話型ロープレ」機能を追加

～AI アバターと生成 AI による音声対話で、実践的な営業スキル育成と評価業務の負荷軽減を実現～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、国内シェア No.1^{*1}の AI 音声認識 AmiVoice を搭載した商談・接客のセルフトレーニングプラットフォーム「AmiVoice RolePlay（アミボイス ロールプレイ）」のオプションとして、「AI 対話型ロープレ」機能の提供を開始しました。AI アバターと生成 AI を活用した柔軟かつ自然な音声対話により、実際の商談に近いトレーニング環境を提供します。



「AmiVoice RolePlay」は、あらかじめ設定したシナリオや評価基準にもとづき、商談のロールプレイングや会話内容のフィードバック・自動評価を行うことができるセルフトレーニングプラットフォームです。2023年9月の提供開始以降、定型的な受け答えを正確に行うトレーニングにおいて高い効果を発揮し、新人・若手を中心とした営業スキルの基礎固めや対応品質の標準化に貢献してきました。

そのような中、本プラットフォームのユーザーから、基礎トレーニングの次の段階として、営業担当者のスキルに応じた、より実践的な対応力を高めるトレーニングへの要望が寄せられていました。

こうした要望に応えるため、この度、「AI 対話型ロープレ」機能をオプションとして提供開始しました。生成 AI を活用することで自然かつ柔軟な音声対話を実現し、より実際の商談に近い環境で、実践的な対応力を養うことが可能です。

「AI 対話型ロープレ」機能では AI アバターが顧客役となり、受講者の発話内容や文脈に応じて臨機応変に回答します。決められたシナリオに沿って商談を進めるのではなく、AI アバターが質問や反応を柔軟に変化させながら会話を展開するため、実際の商談に限りなく近いロールプレイングが可能です。

ロールプレイング終了後には、AI が商談全体を分析し、受講者の強みや改善点などの傾向を整理した具体的な評価内容をフィードバックします。定型的な受け答えの正誤判定だけでなく、対話全体の文脈や受講者の特性を総合的に分析することで、営業トークの構成力や顧客への向き合い方など、定性的なスキルの向上に着目した評価が可能です。受講者へのフィードバックを AI が支援することで、営業組織全体のスキルアップと、管理者による育成・評価業務の工数削減の両立を支援します。

また、従来から提供しているシナリオ型のセルフトレーニングメニューと組み合わせることで、新人から中堅営業まで、それぞれの成長段階に応じた効果的なトレーニング環境を提供します。

今後は、営業シーンや商材、顧客属性に応じたペルソナ設定や難易度調整など、より個々の営業担当者や組織の育成方針に即したロールプレイングが行える機能拡充を予定しています。

アドバンスト・メディアでは、今後も AI 音声認識 AmiVoice と生成 AI を活用し、営業人材の育成効率と質の向上を支援することで、企業の営業力強化と人材育成の高度化に貢献してまいります。

■ 「AI 対話型ロープレ」機能の主な特長

営業力を鍛えるAIロープレ

AmiVoice® RolePlay

AI対話型ロープレ リリース



AIがロープレ相手となり、フィードバックと評価まで実施



1. 生成 AI を活用し、シナリオに依存しない実践的なロープレを実現

生成 AI の活用により、決められたシナリオに依存しない、実際の商談に近いトレーニング環境の提供を実現しました。受講者の発話内容や文脈に応じて、顧客役となる AI アバターの質問や反応が変化するため、想定外の質問や切り返しが求められる場面においても柔軟に対処できる、実践的な対応力を養うことが可能です。

2. 商談全体を AI が分析・評価し、定性的な営業スキルを見える化

ロールプレイ終了後、AI が商談全体の流れや受け答えの傾向を分析し、評価すべき点や改善点をコメント形式でフィードバックします。定型的な受け答えの正誤判定だけでなく、営業トークの構成力や顧客への向き合い方など、定性的なスキルを可視化することが可能です。

3. 共通の評価軸に基づく AI 分析により、ばらつきを抑えた客観的な評価が可能

「AI 対話型ロープレ」機能では、あらかじめ設定した評価軸である「パターン管理」に基づき、ロールプレイ中の会話内容を AI が分析・評価します。「伝える力」「共感力」「交渉力」「深掘りする力」「聞く力」など、営業スキルの向上に必要な評価ポイントを複数ご用意しており、自社の営業方針や育成テーマに沿って自由に選択・追加することが可能です。

共通した評価軸に基づき AI が分析・フィードバックを行うことで、評価者ごとの主観によるばらつきを抑え、均一で客観的な評価を実現します。

4. 従来のシナリオ型のメニューと「AI 対話型ロープレ」を併用し、段階的な育成環境を実現

「AmiVoice RolePlay」では、これまで以下のトレーニングメニューを提供してきました。

・ロールプレイングメニュー：

対面でのロールプレイや実際の商談を録音・録画してアップロードすることで、AI 音声認識が発話内容をテキスト化し、設定された評価観点に基づく自動採点および分析を行うトレーニングメニューです。

・セルフトレーニングメニュー：

あらかじめ録画した顧客役の映像を教材として活用し、シナリオ型の会話練習を個人で繰り返し行えるセルフトレーニングメニューです。新人教育や基礎スキルの定着を支援します。

今回、新たに「AI 対話型ロープレ」が加わったことで、従来のシナリオ通りに話す基礎トレーニングと、AI による柔軟な対応力を鍛える実践トレーニングを組み合わせること可能になりました。新人から中堅営業まで、それぞれのレベルに応じた段階的かつ効果的な育成環境を提供し、組織全体の営業力向上に貢献します。

5. 学習状況の可視化とフィードバックの活用による、育成・評価業務の効率化

「AI ロープレ機能」では、受講者の利用回数やフィードバック内容を管理者が確認することができます。そのため、管理者は部下の受講状況や対応傾向を踏まえた指導やフォローを行うことが可能です。また、フィードバックコメントの作成を AI が支援することで、管理者の負担を軽減し、育成・評価業務の効率化貢献します。

■ 「AmiVoice RolePlay」について



営業力強化ソリューション「AmiVoice SalesBoost（アミボイスセールスブースト）」にて提供している「AmiVoice RolePlay」は、営業力向上を目指すロールプレイングをサポートするクラウドサービスです。本サービスは、上司や先輩、トレーナーの時間を取らずに繰り返しロールプレイングができるセルフトレーニング機能を搭載しています。また、営業トークの内容や話速、表情などをもとに自動で定量評価を行う採点機能も備えており、効率的かつ効果的に営業メンバーの育成と営業力の向上を支援します。

<https://salesboost.advanced-media.co.jp/roleplay.html>

■ 「AmiVoice SalesBoost」シリーズについて

営業組織の強化・改善を目的とした“セールススイネーブルメント”の促進を目的に、国内シェア No.1[※]のAI 音声認識 AmiVoice を活用し、営業活動の DX を加速させる複数のソリューションを「AmiVoice SalesBoost」として、2024年10月よりシリーズ化しました。

現在提供中のソリューションは、AI を活用しリアルタイムで商談を支援する次世代型の営業支援ソリューション「AmiVoice SalesAgent」、接客や商談の会話を可視化・分析する「AmiVoice SF-CMS（アミボイス エスエフシーエムエス）」、AI を活用し効率的な営業トレーニングを実現する「AmiVoice RolePlay（アミボイス ロールプレイ）」があり、これらを組み合わせることで、営業組織全体のスキル向上を継続的に支援するサイクルを構築しています。

- ・ 「AmiVoice SalesBoost」シリーズ詳細

<https://salesboost.advanced-media.co.jp/>

- ・ 「AmiVoice SalesAgent」詳細

<https://salesboost.advanced-media.co.jp/salesagent/>

- ・ 「AmiVoice RolePlay」詳細

<https://salesboost.advanced-media.co.jp/roleplay/>

- ・ 「AmiVoice SF-CMS」詳細

<https://salesboost.advanced-media.co.jp/sf-cms/>

以上

※ 出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者： 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F

U R L： <https://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997 年 12 月

資 本 金： 69 億 3,031 万円（18,392,724 株）（2026 年 3 月末現在）

事 業 内 容： ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997 年に設立。Interactive Systems, Inc.（米国）と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005 年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場（現：グロース市場）に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI（Human Communication Integration）の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1（出典：合同会社 ecarlate「音声認識市場動向 2026」）の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コンタクトセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係
経営推進本部 広報チーム
・ TEL : 03-5958-1307